



(写真提供：一般社団法人 茨城県観光物産協会)

今月の1枚

日本の道100選「つくば道」と筑波山

1986（昭和61）年、日本の道100選*1に名を連ねた「つくば道」。

つくば市北条の「つくば道」入口からの筑波山、同市神郡（かngoおり）の「つくば道」沿道の昔の風情を残す古い町並みからの筑波山は、絶好のビューポイントとして多くの人たちに親しまれている。

筑波山神社まで1里（約4km）の起点となる北条には「これよりつくば道」と記された高さ3mを超える「つくば道道標」が立っており、門前町としての当時の繁栄ぶりが窺える。

また、道中にたくさんの史跡が残されており、いにしへの余韻に浸ることができる。

筑波山は関東平野の北東にそびえ、江戸城からみると鬼門に位置していたことから、かつて徳川家康は「鬼門の護り」として筑波山を崇め、中禅寺（現筑波山神社）を祈願所に定めた。そして三代将軍徳川家光は、1626（寛永3）年、堂社を一新する工事に取りかかり、そのための資材運搬路として整備された道が「つくば道」の生い立ちとなる。後に中禅寺への参詣道となって、江戸方面から多くの参詣客がこの道をたどり、筑波山に詣でることとなった。

近年では、首都圏近郊の手軽なハイキングコースとして、またつくばエクスプレスの開通とあいまって、多くの観光客が訪れている。

※1：当時の建設省（現国土交通省）と「日本の道100選」選定委員会が、各都道府県の推薦する道路3本から選定した、全国各地の特色ある優れた道104本をいう。道の日*2の制定を記念して、1986年度に歴史性と親愛性を基準に53本、1987年度に美観性と機動性を基準に51本の道路が選定された。

※2：1920（大正9）年8月10日、日本で最初の近代的道路整備計画となる「第一次道路改良計画」がスタートした日に因み、1986（昭和61）年制定された。



◆つくばエクスプレス「つくば駅」より車で約25分
常磐道「土浦北IC」より車で約20分
北関東道「桜川筑西IC」より車で約40分